

2026年3月期 第3四半期
決算説明資料

共英製鋼株式会社

(東証プライム：5440)

2026.1.30

- 1 決算ハイライト
- 2 2026年3月期 第3四半期決算報告
- 3 2026年3月期 通期業績予想
- 4 トピックス

1

決算ハイライト

2

2026年3月期 第3四半期決算報告

3


2026年3月期 通期業績予想

4

トピックス

国内は厳しさ継続、堅調な海外でカバーし、全体で前年同期比増益

■ 2026年3月期 第3四半期（累計）実績

	前年同期	当期第3四半期累計	増減
売上高	2,404億円	2,327億円	 ▲77億円
経常利益	99億円	127億円	 +28億円
出荷量	231万トン (国内109万トン 海外122万トン)	242万トン (国内104万トン 海外137万トン)	 +11万トン

- 国内鉄鋼事業：工期遅延・長期化で出荷量減、スクラップ価格の上昇により売買差縮小
前年同期比減収減益
- 海外鉄鋼事業：ベトナムは引き続き堅調・カナダの安定的な利益計上により
前年同期比+70億円の大幅増益

■ 2026年3月期 通期業績予想

- 通期業績：売上高 3,170億円、経常利益 160億円（売上高予想を変更）
- 通期出荷量：330万トン（国内140万トン、海外190万トン）前期比 +16万トン
- 年間配当予想に変更なし 1株当たり90円（中間 30円、期末 60円）

1

決算ハイライト

2

2026年3月期 第3四半期決算報告

3

2026年3月期 通期業績予想

4

トピックス

前年同期比減収増益

期間：2025年4月1日～12月31日

	単位	2025年3月期				2026年3月期				増減	
		1Q	2Q	3Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計	対 前期3Q	対 前期累計
売上高	億円	783	827	794	2,404	742	805	780	2,327	▲ 13 (▲1.7%)	▲ 77 (▲3.2%)
営業利益		31	28	38	97	43	49	42	134	+5 (+11.9%)	+37 (+38.6%)
経常利益		39	23	38	99	41	44	42	127	+4 (+11.2%)	+28 (+28.0%)
当期純利益		26	24	41	91 ^{※2}	27	27	25	79	▲ 16 (▲38.3%)	▲ 12 (▲13.1%)

※1 比較欄の上段は増減数量、カッコ内数値は増減比率

※2 25年3期は特別利益（米国拠点の火災事故に係る保険金など）を3Q累計で35億円計上

セグメント別業績概要

- 国内：工期の遅延・長期化の影響継続、円安影響によりスクラップ価格の上昇基調に転じ売買差が縮小、前年同期比減収減益
- 海外：ベトナム拠点は不需要期ながらも堅調、北米も需要環境良好で前年同期比増収増益
- 環境リサイクル：厳しい競合環境の中、難処理廃棄物の獲得などによりやや持ち直すも減収減益

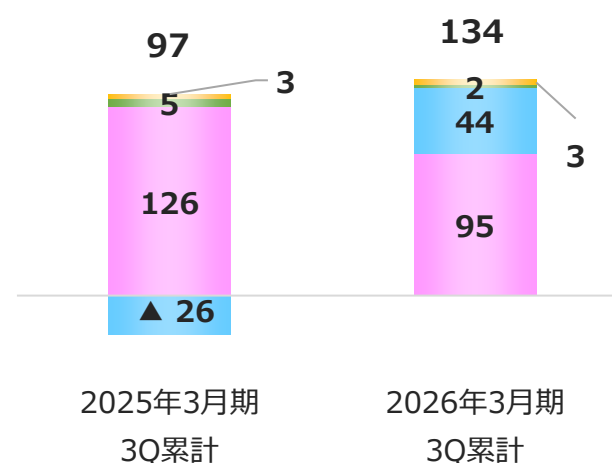
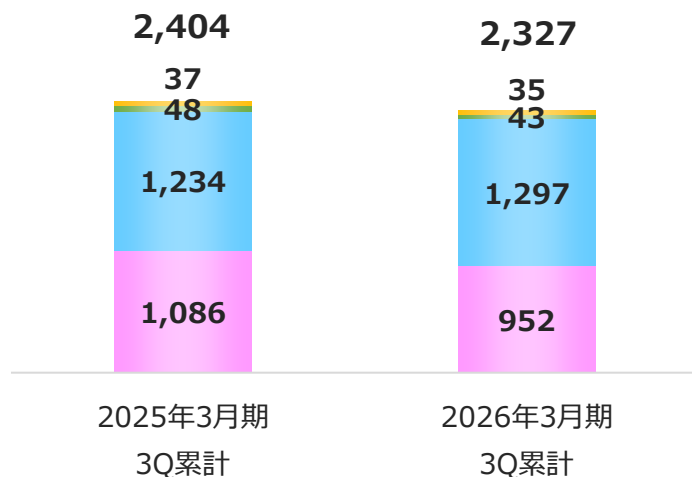
売上高 (億円)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q	2Q	3Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
国内鉄鋼事業	382	347	357	1,086	327	311	315	952
海外鉄鋼事業	371	452	411	1,234	388	469	440	1,297
環境リサイクル事業	17	15	16	48	13	14	15	43
その他事業	13	13	10	37	13	11	10	35
合計	783	827	794	2,404	742	805	780	2,327

営業利益 (億円)

	2025年3月期				2026年3月期			
	1Q	2Q	3Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
	47	32	47	126	40	29	26	95
	▲ 18	2	▲ 10	▲ 26	6	20	18	44
	3	0	2	5	0	0	1	2
	1	1	1	3	2	1	0	3
	31	28	38	97	43	49	42	134

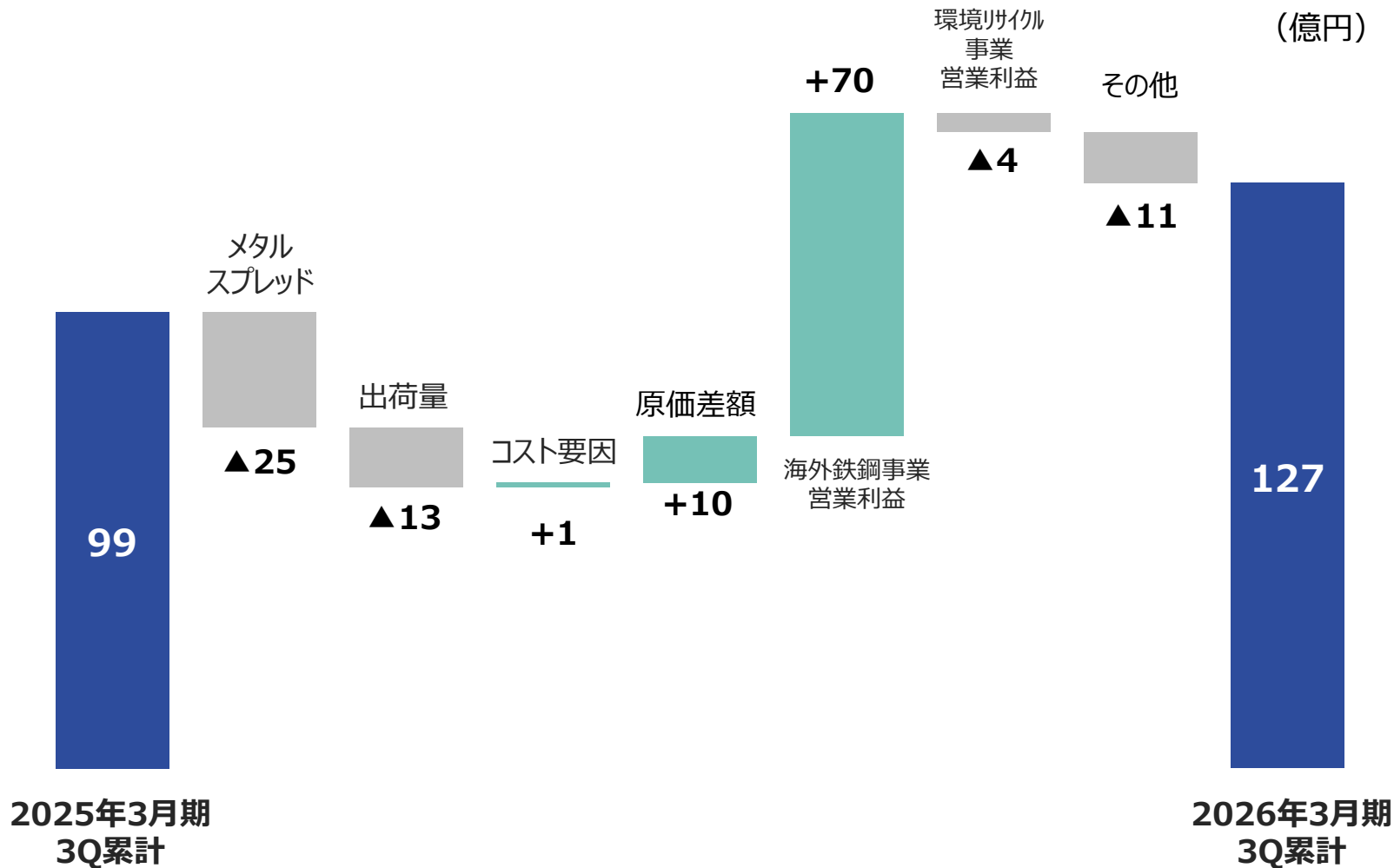
※ 営業利益合計との差異は、消去または全社費用分



国内鉄鋼事業 海外鉄鋼事業 環境リサイクル事業 その他の事業

経常利益の変動要因 (前年同期比)

2026年3月期 3Q累計の経常利益が前期同期対比28億円増加した要因



- 猛暑の影響は脱したものの、建設現場の人手不足や工期遅延・長期化の影響が続き、鋼材需要は引き続き弱基調で推移、出荷量は前年同期比47千トン減少
- 円安の影響による輸出価格の上昇を受けスクラップ価格が上昇基調へ転じ、メタルスプレッドは52.6千円と前年同期比2.4千円縮小

	2025年3月期				2026年3月期				増減 対前年同期 (累計)
	1 Q	2 Q	3 Q	累計	1 Q	2 Q	3 Q	累計	
製品出荷量 (千トン)	379	346	366	1,091	347	344	354	1,044	▲ 47 (▲4.3%)
メタルスプレッド (千円/トン)	51.6	54.6	58.8	55.0	54.9	53.3	49.6	52.6	▲ 2.4 (▲4.4%)

※1 メタルスプレッド = 製品出荷単価 - スクラップ消費単価

※2 比較欄の上段は増減数量、カッコ内数値は増減比率

海外鉄鋼事業：業績概要

- ベトナム南部拠点：鬼月や台風・大雨の影響により、ハウジング向けの需要は回復は遅れている一方、プロジェクト向けの販売は好調に推移し、出荷量は前年同期比増加
前年同期比大幅に増益
- ベトナム北部拠点：プロジェクト向けの出荷が堅調
VIS社の新圧延工場が稼働開始し固定費が増加するも、前年同期比で大幅増益

ベトナム拠点 (南部・北部)

単位	2025年3月期				2026年3月期				前期対比 (3Q)		前期対比 (累計)	
	1 Q	2 Q	3 Q	累計	1 Q	2 Q	3 Q	累計	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	208.7	296.6	258.0	763.3	234.9	308.8	272.9	816.6	+14.9	+5.8%	+53.3	+7.0%
営業利益	▲7.0	3.6	▲7.5	▲10.9	1.1	19.9	9.9	30.9	+17.4	-	+41.8	-
製品出荷量	238	329	309	875	284	389	347	1,021	+38	+12.4%	+146	+16.6%

※ 鬼月は旧暦7月を指し、その時期は家の建設などを避ける風習がある

- 米国拠点：高速道路などの建設需要が堅調、関税の影響により市況も上昇基調でスプレッドが拡大
技術支援などにより操業も改善傾向にあり、前年同期比赤字幅縮小
- カナダ拠点：米国製品に対する報復関税により鉄筋の輸入が抑制され、市況は上昇傾向
利益率の高い鉄筋の出荷量を伸ばし、前年同期比で大幅に増益

北米拠点 (米国・カナダ)

単位	2025年3月期				2026年3月期				前期対比 (3Q)		前期対比 (累計)	
	1 Q	2 Q	3 Q	累計	1 Q	2 Q	3 Q	累計	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	164.8	160.3	155.6	480.6	154.8	160.7	166.7	482.1	+11.1	+7.1%	+1.5	+0.3%
営業利益	▲10.9	▲1.7	▲2.5	▲15.0	5.5	0.6	8.4	14.5	+10.9	-	+29.5	-
製品出荷量	118	111	113	343	114	120	117	351	+4	+3.7%	+8	+2.5%

※ 海外子会社は12月決算 (期間：1月1日～6月30日)

1

決算ハイライト

2

2026年3月期 第3四半期決算報告

3

2026年3月期 通期業績予想

4

トピックス

通期業績予想修正（2026年3月期 通期）

- 売上高を減額、利益は据え置き
- 売上高、利益とも前期実績とおおむね同水準（ただし営業利益は+11%）
- 配当予想は変更なし

		2026年3月期		
単位		上期	下期	通期
売上高	億円	1,547	1,683	3,230
営業利益		92	78	170
経常利益		85	75	160
当期純利益		54	51	105

2026年3月期			参考：前期実績		増減率	
上期	下期	通期	下期	通期	対前期実績	
					下期	通期
1,547	1,623	3,170	1,618	3,228	+0.3%	▲1.8%
92	78	170	94	153	▲17.3%	+10.9%
85	75	160	96	157	▲21.8%	+1.6%
54	51	105	57	108	▲11.5%	▲2.7%

単位		中間	期末	年間
1株当たり配当金	円	30	60	90
配当性向	%	-	-	37.3

中間	期末	年間	増減
30	60	90	-
-	-	37.3	+0.0

※為替前提 下期 150円/\$

セグメント別業績予想

- 前年同期比：国内鉄鋼事業・環境リサイクル事業は**減益**、海外鉄鋼事業は**増益**の見通し
- 前回予想比：国内鉄鋼事業**減益**、海外鉄鋼事業・環境リサイクル事業は**増益**の見通し

売上高

(億円)

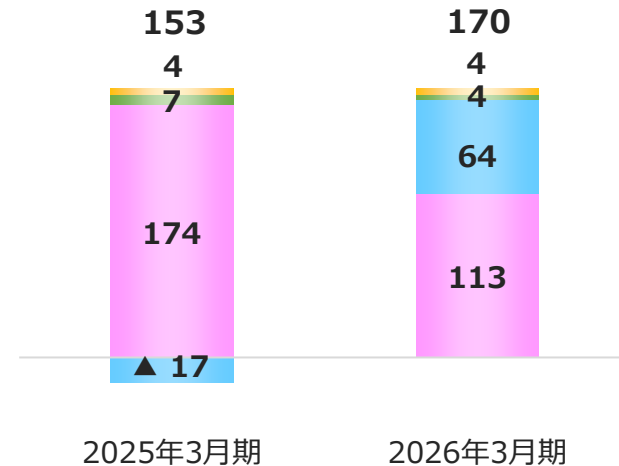
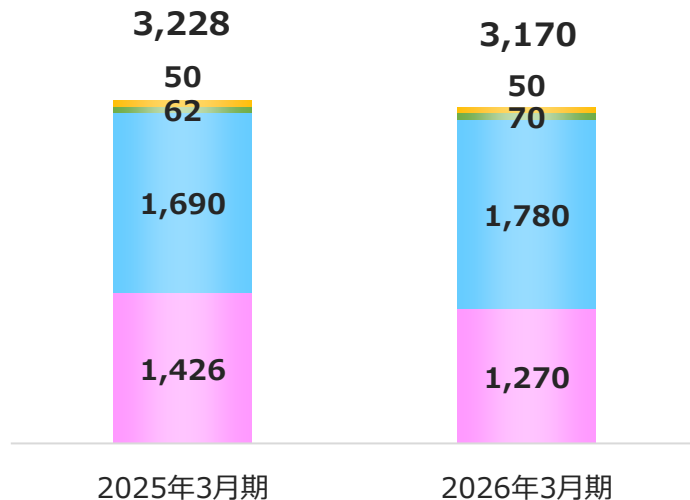
営業利益

(億円)

	2025年3月期			2026年3月期			前回予想	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	下期	通期
国内鉄鋼事業	729	697	1,426	637	633	1,270	683	1,320
海外鉄鋼事業	823	867	1,690	858	922	1,780	922	1,780
環境リサイクル事業	32	31	62	28	42	70	52	80
その他事業	26	24	50	24	26	50	26	50
合計	1,610	1,618	3,228	1,547	1,623	3,170	1,683	3,230

	2025年3月期			2026年3月期			前回予想	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	下期	通期
	79	95	174	69	44	113	46	115
	▲ 16	▲ 1	▲ 17	26	38	64	37	63
	4	3	7	1	3	4	2	3
	2	2	4	3	1	4	1	4
	59	94	153	92	78	170	78	170

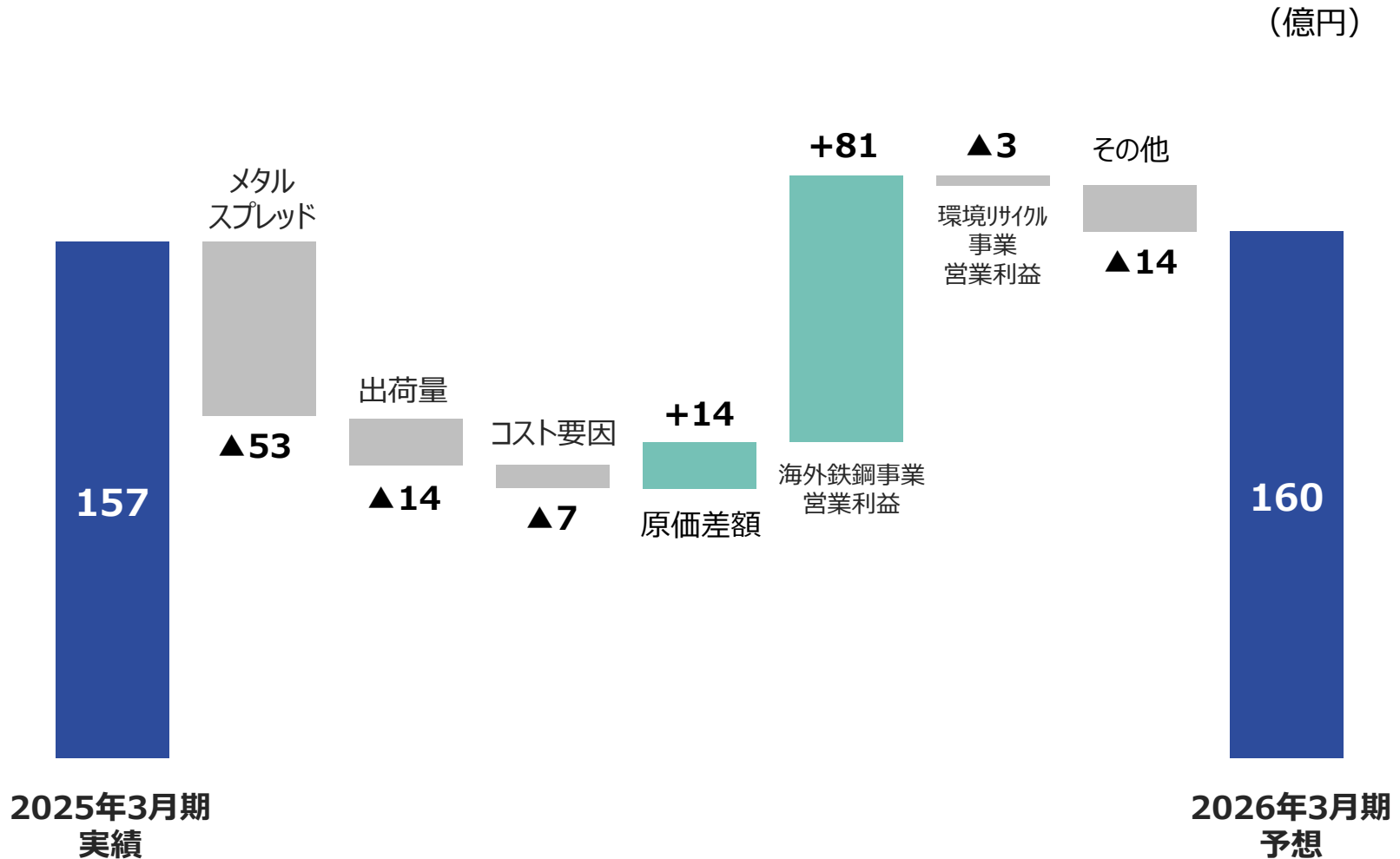
※ 営業利益合計との差異は、消去または全社費用分



国内鉄鋼事業 海外鉄鋼事業 環境リサイクル事業 その他の事業

経常利益の変動要因：通期予想（前期実績対比）KYOEI STEEL

2026年3月期通期の経常利益が前期実績対比3億円増加する要因



通期の前提数値

出荷量は前回予想から据え置きの**140万トン**

スクラップ価格は上昇基調で推移する一方、製品価格の上げ幅が追いつかず、スプレッドが縮小する見込み

	2025年3月期			2026年3月期					前回予想		増減			
	上期	下期	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	下期	通期	対前年同期		対前回予想	
											(下期)	(通期)	(下期)	(通期)
製品出荷量 (千トン)	725	726	1,451	690	354	356	710	1,400	710	1,400	▲ 16 (▲2.2%)	▲ 51 (▲3.5%)	+0 (+0.0%)	+0 (+0.0%)
メタルスプレッド (千円/トン)	53.1	57.7	55.4	54.1	49.6	48.5	49.0	51.5	50.0	52.0	▲ 8.6 (▲14.9%)	▲ 3.8 (▲6.9%)	▲ 0.9 (▲1.8%)	▲ 0.5 (▲0.9%)

※1 メタルスプレッド = 製品出荷単価 - スクラップ消費単価

※2 比較欄の上段は増減数量、カッコ内数値は増減比率

- ベトナム南部拠点：ハウジング向け需要は回復が遅れる一方、空港など政府主導のインフラ需要は堅調に推移、出荷量増により前回予想比で増益の見通し
- ベトナム北部拠点：下期からVIS社の新圧延工場の償却負担が発生
新工場からの出荷分が上乗せされ、出荷量は前回予想を上回り
前回予想比で増益の見通し

ベトナム拠点 (南部・北部)

単位	2025年3月期					2026年3月期					前回予想	前期対比		前回予想対比	
	上期	3Q	4Q	下期	通期	上期	3Q	4Q (予)	下期 (予)	通期 (予)	通期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	505.3	258.0	292.1	550.1	1,055.4	543.7	272.9	367.7	640.6	1,184.3	1,155.2	+128.9	12.2%	+29.1	2.5%
営業利益	▲3.4	▲7.5	0.1	▲7.4	▲10.8	21.0	9.9	13.3	23.2	44.2	42.2	+55.0	-	+2.0	4.8%
製品出荷量	566	309	345	654	1,221	674	347	452	799	1,472	1,436	+252	20.6%	+36	2.5%

- 米国拠点：需要は堅調、米国関税の影響により市況も上昇傾向にある
老朽化の影響で生産性に課題はあるものの、操業は改善しており、
4Qも黒字計上の見通し
- カナダ拠点：鉄筋を中心に引き続き需要は堅調
定修などの影響により出荷量がやや減少し、固定費も増加
前回予想比では減益の見通しだが、通期約30億円の高水準の収益を維持

北米拠点 (米国・カナダ)

単位	2025年3月期					2026年3月期					前回予想	前期対比		前回予想対比	
	上期	3Q	4Q	下期	通期	上期	3Q	4Q (予)	下期 (予)	通期 (予)	通期	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	325.0	155.6	164.5	320.0	645.1	315.5	166.7	117.9	284.5	600.0	626.5	▲45.1	▲7.0%	▲26.5	▲4.2%
営業利益	▲12.5	▲2.5	9.5	7.0	▲5.5	6.1	8.4	7.7	16.1	22.2	24.8	+27.7	-	▲2.6	▲10.5%
製品出荷量	230	113	120	233	463	234	117	81	198	432	449	▲31	▲6.7%	▲17	▲3.7%

1

決算ハイライト

2

2026年3月期 第3四半期決算報告

3

2026年3月期 通期業績予想

4

トピックス

トピックス

米国拠点 設備投資計画一部変更（2026.1.16開示）

変更内容・理由

さらなる生産効率向上および生産能力増強を目的として、
 一部設備の追加ならびに仕様の見直しを実施
 インフレや資材・工事単価の上昇、米国における相互関税の影響も反映
 ⇒ 投資総額は**327百万米ドル**（前回発表時から**72百万米ドル増加**）

概要

- 設備投資 (1) 製鋼工場新設（Tenova社製）
 (2) 既存圧延設備大幅改造（Pomini Long Rolling Mills社製）
- 生産能力：製鋼設備 **36万ネットトン/年**（前回発表 +3万ネットトン）
 圧延設備 **36万ネットトン/年**（前回発表 +4万ネットトン）
※ネットトン：約0.907 メトリックトン
- 投資総額：327百万米ドル
- 生産品目：鉄筋棒鋼、鉄球用丸鋼
- 資金調達：自己資金、銀行借入、米国テキサス州政府の
 IRB（産業歳入債）等を組み合わせ、最適な資金調達方法を検討

今後の予定

- 建設工事開始： 2026年 4月
- 新製鋼工場の稼働開始： 2027年 3月
- 新ラインでの一貫商業生産開始： 2027年10月

※ 基礎工事等については予定通り進捗中

免責事項

- 本資料に掲載されている情報には、当社に関する将来予測や業績予想が記述されていますが、これらは潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。業績結果が経営環境の変化などによって、見通しと異なったものになる可能性があることをご承知おきください。
- これらの情報を利用することで生じたいかなる損失や損害に対しても、当社は一切責任を負うものではありません。

 **共英製鋼株式会社**

参考：連結貸借対照表

■ 資産の部

(単位：億円)

	24年 3月期末	25年 3月期末	26年3月期 12月末	増減
現金預金	576	645	526	▲ 119
売上債権	934	716	782	65
有価証券	0	0	50	50
棚卸資産	650	686	670	▲ 16
その他	48	66	83	18
流動資産合計	2,209	2,113	2,111	▲ 2
有形固定資産	1,014	1,097	1,122	25
無形固定資産	38	31	29	▲ 2
投資その他	281	287	285	▲ 2
固定資産計	1,333	1,415	1,436	20
資産合計	3,542	3,528	3,547	19

■ 負債・純資産の部

	24年 3月期末	25年 3月期末	26年3月期 12月末	増減
仕入債務	252	269	325	56
短期借入金	601	555	576	21
その他	226	209	162	▲ 46
流動負債合計	1,079	1,033	1,063	30
社債	100	100	100	0
長期借入金	226	181	146	▲ 34
その他	122	124	122	▲ 2
固定負債合計	449	404	368	▲ 36
負債合計	1,528	1,437	1,430	▲ 6
純資産の部				
自己資本	1,946	2,030	2,052	22
非支配株主持分	68	62	65	3
純資産の部合計	2,014	2,092	2,116	25
負債・純資産合計	3,542	3,528	3,547	19

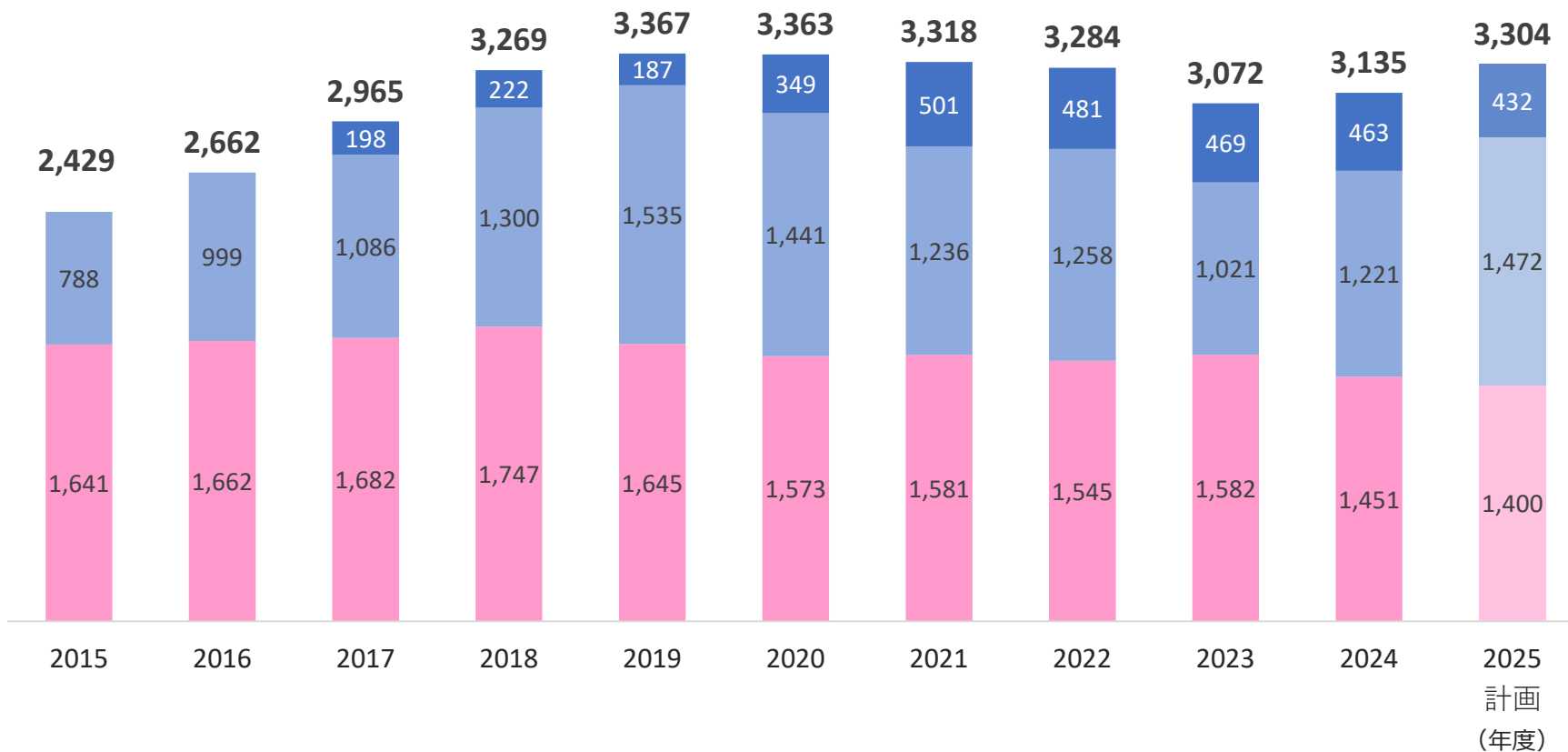
■ 経営指標

	24年 3月期末	25年 3月期末	26年3月期 12月末	増減
自己資本比率	54.9%	57.5%	57.8%	0.3pt
ネットDEレシオ	0.18倍	0.09倍	0.14倍	0.05pt

製品出荷量推移：国内・海外

- 国内
- ベトナム
- 北米

(千トン)



参考：当社グループの国内拠点



山口事業所

異形棒鋼（全サイズ）、構造用棒鋼、
小形形鋼（平鋼、Iバー、等辺山形鋼）



枚方事業所

異形棒鋼（細物）、丸鋼



共英産業(株)

鉄筋加工、鋼材販売ほか



共英加工販売(株)

鉄筋加工



(株)吉年 鋳物製造



(株)共英メソナ

環境リサイクル事業



関東事業所

異形棒鋼（細物）



名古屋事業所

異形棒鋼（全サイズ）、
ネジ節鉄筋、高張力鋼

その他の国内拠点

- ・ 共英リサイクル(株)
- ・ 共英マテリアル(株)
- ・ みどり精密工業(株)
- ・ 中山鋼業（持分法適用）



参考：当社グループの海外拠点（ベトナム）



1 ベトナム・イタリー・スチール社（VIS社）

ベトナム フンエン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）

生産能力：製鋼45万トン/年

圧延80万トン/年（ハイフォン、フンエン）

2 キョウエイ・スチール・ベトナム社（KSVC社）

ベトナム ニンビン省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、線材）

生産能力：圧延30万トン/年

3 ビナ・キョウエイ・スチール社（VKS社）

ベトナム バリア・ブントウ省

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、丸鋼、形鋼、線材）

生産能力：製鋼70万トン/年、圧延90万トン/年

4 チー・バイ・インターナショナル・ポート社（TVP社）

ベトナム バリア・ブントウ省

事業内容：港湾事業

5 ビナ・ジャパン・エンジニアリング社（VJE社）

ベトナム ハイフォン市

事業内容：鋳鉄製品製品の製造・販売

生産能力：9,000トン/年

製鋼工場（ハイフォン）





アルタ・スチール
(アルバータ州)

1

ビントン・スチール
(テキサス州)

2



1 アルタ・スチール（AltaSteel）社

カナダ アルバータ州

事業内容：鋼材の製造・販売、
スクラップメタルの処理・販売

生産能力：製鋼30万トン/年
圧延27万トン/年

設立年：2020年（創業は1955年）

2 ビントン・スチール（Vinton）社

米国 テキサス州

事業内容：鋼材の製造・販売（棒鋼、鉄球）

生産能力：製鋼25万トン/年
圧延20万トン/年

設立年：1962年